

第83回 東京女子医科大学学会総会

The 83rd Annual Meeting of the Society of Tokyo Women's Medical University

■ 総 会 13:00~13:15

■ シンポジウム 13:25~16:10

座長（東京女子医科大学医学部国際環境・熱帯医学 教授・講座主任）杉下智彦

13:30
13:55

戸田隆夫

（独立行政法人国際協力機構（JICA）上級審議役）

グローバルヘルスと持続可能な社会の創造

13:55
14:20

島崎謙治

（政策研究大学院大学教授）

国民皆保険の将来

—人口構造の変容と医療政策の課題—

14:20
14:45

永井康徳

（医療法人ゆの森理事長）

在宅ケアの未来予想～在宅医療で

医療を変える、地域を変える、文化を変える～

14:45
15:10

川添高志

（ケアプロ株式会社代表取締役社長）

社会変革の新しい担い手

15:10
15:35

前野隆司

（慶応義塾大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授）

イノベーション教育とウェルビーイング

15:35
16:00

三砂ちづる

（津田塾大学学芸学部国際関係学科教授）

今、あらためて、“生まれる場所”、“死ぬ場所”を考える

16:00
16:10

杉下智彦

（東京女子医科大学医学部国際環境・熱帯医学 教授・講座主任）

総括

2017年

9月30日

（土）13:00~16:10

東京女子医科大学
弥生記念講堂

入場無料・予約不要

<主催>東京女子医科大学学会

<問合せ先>東京女子医科大学 学会室/東京都新宿区河田町8-1 中央校舎3階

Tel・代表 03-3353-8111/Tel & Fax 03-5269-7403

URL <http://www.twmu.ac.jp/gakkai/>



シンポジウムテーマ

『未来の社会創造』
21世紀の医療の姿と社会デザイン

近年、医学・医療の進歩にはめざましいものがあり、様々な疾病の克服に貢献してきています。一方で、日本では少子高齢化社会が急速に進行し、健康格差の助長をはじめ、介護医療、育児保育、差別や虐待、医療費の負担など、これまでに経験したことのない社会課題が出現してきています。本シンポジウム『未来の社会創造』21世紀の医療の姿と社会デザイン』では、私たちが直面する様々な社会課題に対して、新しい価値観の創造を提唱する各界のリーダーをお呼びして、「地球の未来を見据えたグランドデザイン」を皆さんとともに考えるきっかけにしたいと思っております。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

*

戸田隆夫 先生

京大法学部卒、JICA 入職。米国事務所次長、平和構築支援室長、人間の安全保障グループ長、ハングラデシュ事務所長、人間開発部長等を経て、2016年10月より現職。東大大学院新領域創成科学研究科にて修士号取得（同研究科優秀論文賞受賞）。名大大学院国際開発研究科にて博士号（学術）取得。主な研究テーマは、人間の安全保障および平和構築等の理念を国際協力の実践において適用することによる社会変革の可能性についての考察。「保健医療分野の国際協力—人間の安全保障の実現に向けて」保健の科学第58巻など著書、論文多数。

島崎謙治 先生

東大教養学部卒、厚生省（当時）入省。厚生労働省保険局保険課長、国立社会保障・人口問題研究所副所長、東大大学院法政政治学研究所附属比較法政国際センター客員教授などを経て、2007年より現職。早大にて博士号（商学）取得。『日本の医療—制度と政策』（東京大学出版会）、『医療政策を問いなおす—国民皆保険の将来』（ちくま新書）など著書、論文多数。

永井康徳 先生

愛媛大医学部卒。自治医大地域医療学教室、明浜町依津診療所勤務、たんぼぼクリニック開設、医療法人ゆの森設立、たんぼぼ依津診療所開設。専門は、在宅医療、在宅ホスピスケア。『在宅医療をはじめよう！医療を変える、地域を変える、文化を変える』（南山堂）、『楽なようにやりたいように後悔しないように』（愛媛新聞社）など著書多数。

川添高志 先生

慶大看護医療学部卒。看護師、保健師。経営コンサルティング会社、東大医学部付属病院を経て、2007年12月ケアプロ株式会社を創業。ケアプロの事業は、東大医療政策人材養成講座優秀成果物特賞などを受賞。日経ビジネス「次代を創る100人」、世界経済フォーラムダボス会議グローバルシェイパー、アショカフェローなどに選出。

前野隆司 先生

東工大卒、東工大修士課程修了。キヤノン、カリフォルニア大学バークレー校、ハーバード大学などを経て、2008年より現職。東工大にて博士号（工学）取得。幸福学、イノベーション教育などの研究に従事。『幸せのメカニズム』（講談社現代新書）、『幸せの日本論』（角川新書）、『脳はなぜ「心」を作ったのか』（ちくま文庫）など著書多数。

三砂ちづる 先生

京都薬科大卒、ロンドン大学 PhD.（疫学）。ロンドン大学衛生熱帯医学学校疫学人口科学部、JICA 疫学専門家（ブラジル）、国立公衆衛生院疫学部等を経て現職。専門は疫学・母子保健。著書に「オニババ化する女たち」（光文社新書）、「死にゆく人のかたわらで」（幻冬舎）、「月の小屋」（毎日新聞社）、「女が女になること」（藤原書店）、など多数。